平成23年3月15日（火曜日）

“ふるさとちば”のための政策推進を

はやし 幹 人 林もとひと県議会リポート

発　行／自由民主党千葉県議会議員会　〒260-0855　千葉市中央区市場町２番13号　電話 043（227）7411

▲小泉一成・成田市長（左）とがっちりと手を結ぶ林幹人県議

自殺のシグナル 周囲が気づいて

自殺者、13年連続3万人超え 全国

林幹人県議は、未来を見据える確かな目で、世界に羽ばたく国際空港都市・成田市の更なる発展の為、行動しています。ライフワークである成田空港問題や自殺対策、中核地域生活支援センターなどについて核心を突いた質問を行い、知事らに要望をしました。小泉一成・成田市長からも全幅の信頼を寄せられている林県議の、今後ますますの活躍が期待されます。

2月県議会一般質問

若さと情熱で県政にチャレンジ

林議員　自殺者が後を絶たない。警察庁の統計では、昨年の自殺者数は三万千五百六十人で、十三年連続三万人を超えた。千葉県でも昨年は千四百四十四人が自殺した。

自殺を考える理由はそれぞれあるが、自殺を図った人の多くが生前、何かしらのシグナルを周辺の人に出していたという。自殺対策には、身近な人の気づきと見守りが大切と考えるが、県ではどのように自殺対策の普及啓発を図っていくのか。

知事　県では本年度から「～気づいて、つなげる、いのちの絆～ちば心のキャッチボールプロジェクト」を実施しています。

このプロジェクトは、自分のまわりの人のうつ病などのサインに気づき、相談機関につなげてもらうことを目的としております。

具体的には、ラジオCM放送や、ポスターの掲示、自殺対策の県民フォーラムの開催、街頭PRの実施や専用ホームページの開設などにより、私自らが先頭に立って本プロジェクトの周知に努めています。

県では今後とも、自殺やうつ病など精神疾患について、正しい知識の普及を図り、自殺のサインや、気づいた時の対応方法などについて、県民の理解を促進するため、多様な啓発事業を推進してまいります。

林議員　相談機関の機能の強化について、県はどのように対応していくのか。

健康福祉部長　県では、相談機関の情報共有や、横の連携を図るための会議を昨年十二月に開催するとともに、各相談機関が共通に使うことのできる「共通相談マニュアル」の一つとして、「メンタルヘルス問題への対応マニュアル」を今年度中に作成することとしております。

要望　林議員　自殺対策については知事のラジオCMなどもやっているが、民間事業者なども利用し、もう少し目に留まりやすいメッセージ性のある広報物を検討してみる必要がある。

普段の生活の中で、「皆さん、自殺のサインを見逃さないでください」というメッセージを是非これからも県発信で行ってほしい。

成田空港 LCCの誘致、国内線の充実 県は「必要」の訴えを

林議員　成田空港のローコストキャリアの誘致や国内線の拡充について、現在の空港会社の取組状況を含め、県はどのように認識しているのか。また、来年度予算案において、「成田空港30万回ビジョン具体化検討調査」を計上しているが、この中でカジノについてはどのような調査を実施していくのか。

知事　県としても、多様な航空ニーズに的確に対応していくことは、成田空港がグローバルハブ空港としての地位を確立していくためにも重要と認識しており、空港会社に積極的に協力してまいります。

また、空港機能の強化を本県経済の活性化につなげることも重要であり、「成田空港緊急戦略プロジェクト会議」の提言を具体化するため、「三十万回ビジョン具体化検討調査」を実施したいと考えています。

この調査では「カジノを含む複合施設の導入検討調査」も実施したいと考えており、事業形態、経済波及効果などや治安問題などについて、外部有識者委員会を設置し調査・検討する予定となっています。

要望　林議員　県が主体的に、なぜローコストキャリアが必要なのか、なぜ国内線の充実が必要なのかということをきちっと訴える必要がある。

羽田空港は国内線のネットワークがあるから、北海道から沖縄まで、羽田空港からそのまま海外に飛べるので便利ということでアピールしているが、成田も世界九十五都市と結ぶ豊富なネットワークを最初から持っているから、成田も国内線を充実させればそのまま海外に飛べる。羽田がやろうとしていることは、成田でも十分できる。

羽田は漁業権の問題、空域の問題など、非常に多くの問題があって、これ以上の拡張は非常に難しい。やはり国益にも沿うのは、現実的に成田空港の整備であり、それをしっかりと説明するのが、県の役割だと思っている。

地元のエゴと取られないように、今申し上げたしっかりとした裏付けを、これからも県が積極的に発信していただきたい。

林もとひと オフィシャルサイト
http://www.motohito884.com/
「新しい成田を目指して」
「月間コラム」毎月15日更新
政策・提言やプロフィール等を紹介しています。ブログやツィッターもこのホームページからご覧になれます。

成田市特集

2月県議会一般質問

市民の思いを県政へ届けます

林もとひと（はやし幹人）県議

福祉の拠点　中核地域生活支援センター

理解に苦しむ事業費削減傾向

林議員　少子高齢化が進み、経済が低迷する中で、一人でいくつもの悩みや課題を抱えている方々が多くなっている。

これらの相談などに応じて問題を整理し、必要な機関への連絡調整を行う総合相談窓口が中核地域生活支援センターで、千葉県独自の事業として設置されてから七年目となり、十三か所の中核センターは多いところでは月に五百件を上回る相談が寄せられるなど、地域福祉の拠点になっている。

2月県議会で登壇し一般質問を行う林幹人県議

現状認識に甘さ

そこで改めてうかがうが、中核地域生活支援センターは、地域福祉の推進においてどのような役割を担っているのか。

健康福祉部長　地域福祉をめぐる環境は、昨今の経済情勢の変化などに伴い、貧困や児童、高齢者虐待、ひきこもりなど、問題が複雑・多様化し、一つの制度や機関では解決できない複合的な問題を抱える方々が増えています。中核地域生活支援センターは、二十四時間、三百六十五日体制で地域住民などの様々な相談に応じ、制度の隙間や複合的な課題に対応するとともに、その解決や生活支援に必要な地域でのネットワークづくりの総合調整など、重要な役割を担っているところです。

林議員　地域福祉の推進のため、中核地域生活支援センターの充実と中核センターの持つ機能を普及していくことが必要と考えるが、県はどのように進めていくのか。

健康福祉部長　今年度、十三か所の県健康福祉センター圏域単位で市町村や中核センターが参加する会議を開催し、圏域毎の現状や課題を把握するとともに、機能の普及や更なる連携強化の方策を検討するなど、市町村の実情に応じた相談体制の充実に向けて取り組んでいます。

要望　**林議員**　今回私が質問をしたのは、県が中核センターの重要性をどれほど認識しているかをまず確認することであった。

中核センターは、二十四時間三百六十五日体制で利用者の相談にあたる、また、制度の隙間を埋める、多様なニーズに応えるという非常に重要な役割を担っているという答弁をいただいた。

一方で、県は重要であると認識しつつ、事業費は削減傾向にあり、理解に苦しむ。理由は、市町村を中心とした地域の相談体制が整いつつあるということだが、二十四時間三百六十五日対応するのは現実的にほぼ無理であるし、市町村の体制が整っているのを理由に減らすというのは現状の認識が甘いのではないのか。

まだまだ中核センターには多くの相談者が来ており、現状をしっかりと把握し、現場の声を聞いて、何が県民のために一番良いのか、県の独りよがりではなく、利用者目線でもう一度判断を慎重にしていただきたい。

私のほうからは、事業費が今後とも安定的に確保される事を要望する。

工事の早期完成要望

北千葉道路など

林議員　市川市から成田市を結ぶ延長約四十三キロメートルの北千葉道路は北総地域の東西方向の骨格になり、地域の活性化に大いに寄与すると期待されており、一日も早い完成を要望する。

成田地域が空港のポテンシャルをより一層生かすためには、さらなる道路整備が必要。そこでうかがうが、公津の杜へとつながる国道464号成田市大袋地先の歩道整備の進捗状況と今後の見通しはどうか。

県土整備部長　国道464号成田市大袋地先は、近くに保育園や小学校がありますが、交通量が多く歩道もないことから、歩行者の安全を確保することが課題となっています。

そこで県では、宗吾霊堂から公津の杜地先までの延長約七百五十メートルについて、歩道の整備を進めているところです。

これまでに、用地取得済みの箇所から順次工事を実施してきたところであり、今年度末の進捗状況は、事業費ベースで約36％となる見込みです。

要望　**林議員**　引き続き、早期完成に向け事業進捗のスピードアップを要望する。

林議員　県道成田松尾線成田市小菅地先の歩道整備の進捗状況と今後の見通しはどうか

県土整備部長　県道成田松尾線成田市小菅地先は、交通量が多く、事故が多発しており歩道も狭いことから、小菅交差点から三里塚交差点までの延長約三・六キロメートルについて、歩道の整備を進めているところです。

これまでに、用地取得済みの箇所から順次工事を実施し、延長約二・九キロメートルを供用しているところであり、今年度末の進捗状況は、事業費ベースで約78％となる見込みです。

要望　**林議員**　成田赤十字病院前の国道464号成田市飯田町地先の交差点について、交通の流れをスムーズにし、より安全性を高める右折レーンを設置するよう要望する。

林もとひと県議・プロフィール

○略　歴○

昭和48年	9月	銚子市に生まれる
平成４年	3月	銚子市立銚子高校卒業
平成８年	3月	玉川大学文学部卒業
	5月	米国ロードアイランド州語学留学
平成10年	4月	空港グランドサービス入社
平成12年	4月	衆院議員・山崎拓秘書
平成15年	4月	衆院議員・林幹雄秘書（成田市担当）
平成19年	4月	千葉県議会議員初当選

○現　職○

- 県議会　健康福祉常任委員会委員
- 千葉県　国土利用計画地方審議会委員

県政に新風　市民の声を生かします

●県政や成田市のご相談・ご要望はお気軽にどうぞ
林もとひと県議事務所
〒286-0134
成田市東和田569 なるげや陶器ビル１階Ｆ号
TEL 0476－20－0884
FAX 0476－20－0885
Eメール：motohito884@gmall.com

ホームページもご覧下さい。…　林もとひと　検索